ようやく会えたね
嬉しいよリンスレット

誰よアンタ!?

以前会った時から
君の事が忘れられ
なくてね・・・
方々探し回ったよ

何なの・・・?

そしてついに探し当て
こうして僕の手の中に
納めることができた!

!!

ああ・・・夢にまで
見てきたこの身体・・・
自由にできるのかと
思うと嬉しくて
震えてくる・・・

今夜はじっくり
堪能させて
もらうよ♥

ちょっと!

止めなさいよ!!

気持ち悪いわねっ!!

ひどいな・・・
いやでも
ひょっとしてこの
場所が気に入らな
かったかい？

そうじゃなくて！
アンタの事
全然知ら――

あっ！

大丈夫さ
そのうち思い出して
くれる・・・
いや、別にいいか
もう過去の事だ

ぐっ！

今はただこの身体を
心ゆくまで味わって
新しい思い出にするまで

やめて!!

コイツ・・・ッ
普通じゃない！

何とかして
逃げないと・・・

これ以上どんなことを
されるか・・・！

んっ
くう！

このっ・・・！
いつまでそうやって
吸い続ける気なの!?

いい加減
離れなさいよ!!

ベタベタして
気色悪いっ!!

そうかい？
僕には段々君も
感じてきてるように
見えたけど・・・

誰がっ・・・!!

でも確かに僕も
我慢ができなくなって
きたな・・・

!?

!!

そろそろ
次の段階に
進もうか♥

[redacted]

挿入ったよ
リンスレット!!

これが
リンスの膣内!
ヌルヌルが
まとわりついて!

なんて気持ちが
いいんだっ!!

ああっ♥

ダメッ!抵抗
したいのにつ

おっぱいばかり
吸われ続けて力が――

出すよ!!
リンス!!

ダメエッ♥

せっかくひとつになれたのにこれで終わりなんてありえない!!

一晩中繋がり続けよう！リンスレット!!

ウソッ!? そんなっ♥

ぐうっ!! 出る!!

中出しッ!!

何度でも出すよ！リンスッ!!

いやぁッ!!

ヤバッ！イキそう♥

こんなヤツ相手に…イキたくないのにっ！

ん〜〜〜

ちゅ

ちゅ

ぼぉん

ちゅ

ぶくぶくん

ぶくぶくん

ぶくぶくん